

塩竈の風景を未来の世代へ

塩竈みなと祭陸上パレード

『段ブロックお神輿陸上渡御』

祭りのときのお神輿の巡行は約300年続く塩竈の伝統の風景であり、大きな魅力の一つです。今回のみなと祭では、その魅力を未来の世代へ伝えるために、陸上パレードで「段ブロックお神輿」が行われます。この企画は「海上渡御」ならぬ「陸上渡御」として、市内の幼稚園児が段ボール製のブロックなどを使い、自分たちで制作したお神輿を担いでパレードに参加します。

園児たちで作るこのお神輿は、7月15日に行われる陸上パレードのオープニングでお披露目されます。石川さんは「観客の方にもお神輿の意味、楽しさを子どもたちと一緒に共有してもらえよう」と頑張ります」と意気込みました。

企画した塩釜青年会議所理事長の石川夕起子さんは「塩竈に根付いているお神輿の文化、お神輿の意味に小さいころから触れてもらいたい」と思いがきつかけです。お神輿を通じて、塩竈の魅力や文化を発信すること。小学生からとなっている陸上パレード参加者のすそ野を広げていくことで、塩竈を盛り上げていく人たちが、将来増えていくとすればという願いをこめていきます」と話しました。

問 (公社)塩釜青年会議所 ☎06-5-80603



▲(公社)塩釜青年会議所 理事長 石川夕起子さん



▲段ボールでできた段ブロックで子どもたちが趣向を凝らしたお神輿を作ります

しおがまの昔・懐かし

思い 出写真館 ③

東北の夏の始まりを告げる「塩竈みなと祭」。今年で第72回を迎えます。今回は、昭和38年に撮影された塩竈みなと祭の写真を紹介します。撮影者の今野紀房さんから、当時のお話を伺いました。

この写真は、高校三年生だった私が、父のカメラを借りて撮影したものです。当時の塩竈みなと祭は、仙台七夕まつりの前である8月4日から5日に行われ、パレードは海岸通で開催していました。片側のみ木造のアーケードになっていて、小売店が並んでいました。パレードは、今と変わらず子どもたちが参加していましたが、当時は、商店会からも参加していて、にぎわっていました。



◀現在の海岸通。
左下のトラックのあたりから撮影されました。

主に昭和40年代から平成10年ごろまでの塩竈の写真を募集します。詳しくは市ホームページをご覧ください。政策課市政情報係(☎355-5728)まで問い合わせください。

新しく誕生

宗旨宗派不問
つどいの地

仙塩丘の上霊園

樹木葬墓地

料金形態 永代使用料及び管理料
1名 **50万円(税別)**

※生前のお申込み2名様の場合は70万円(税別)以降1名様ごとに15万円(税別)となっております。
※永代使用料には、プレート料・彫刻料・納骨料が含まれております。

—— ご契約後の管理料は一切必要がないので安心です。 ——

宮城県塩竈市
向ヶ丘25番9号

塩釜市月見ヶ丘
霊園向い側

生前予約承ります

お問い合わせ

022-762-8656

樹木葬生前予約分譲開始
※指定石材店は志賀石材店です

ご相談・お見積り無料

022-762-8656

仙塩丘の上霊園 検索

塩竈市月見ヶ丘
霊園向い側

「広報しおがま」は、22,800部製作し、1部当たりの経費(印刷・発送)は74円です。

塩竈市は、自主財源を確保するため「広報しおがま」に有料広告を掲載しています。

